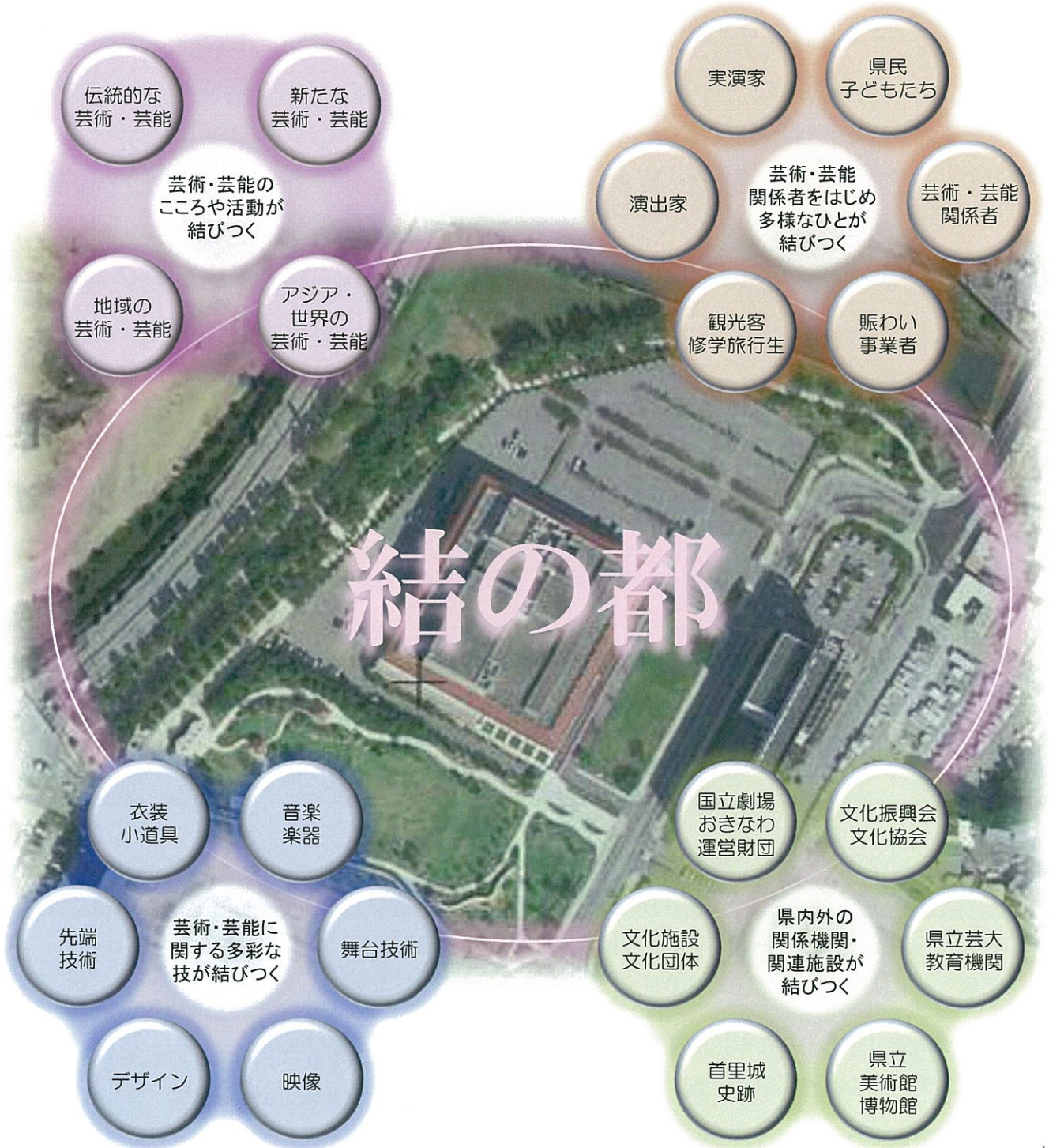


『おきなわ文化芸術・結の都』(仮称)



『結の都』では、基本理念の実現と拠点の機能の発揮に向けて、戦略的に事業を展開します。

<事業方針>

『グローバルな相互理解・平和友好への貢献』『郷土への誇り・愛着の醸成と価値の再共有』『沖縄の芸術・芸能活動の担い手の夢・希望と責任の確立と継承』に向けて、「沖縄の芸術・芸能の振興に関する事業」「『結の都』の集客交流促進・広報等に関する事業」「施設の維持管理・運営に関する事業」「その他『結の都』の円滑な運営に求められる事業」の4つの事業を展開します。

<事業実施方針>

- ① マーケティングを重視して、ホスピタリティを発揮し、県民・県外(海外)からの来訪者などあらゆる利用者の高い満足度を追求したサービスを提供します。
- ② 受益者負担の原則に基づきながら、多様な資金調達手法を確立して、できる限り自立した事業展開を志向します。
- ③ エリアを「経営」する視点を持ち、様々な関係者や事業者との連携・協働を促進し、より合理的・効率的な体制・手法により事業を展開します。

■沖縄の芸術・芸能の振興に関する事業

- 芸術・芸能の発掘・育成・継承支援
- 芸術・芸能に関する目利きと事業性強化に関する支援
- 芸術・芸能の記録（アーカイブ化）・保存等に関する業務
- 芸術・芸能に関する多様な人材の育成（アーツマネジメント人材）
- 県下文化施設を活用した戦略的なコンテンツ流通促進（県内おでかけ劇場）
- 県下文化施設の経営人材の育成・ネットワークの構築
- 国立劇場おきなわの事業と連動した各種取り組みの展開

■ 『結の都』の集客交流促進・広報等に関する事業

- 沖縄の芸術・芸能の公演等に関する情報の一元管理
- 多様な手法を活用したリアルタイムな情報発信（メルマガ・ラジオ局など）
- 販売促進のためのネットワーク構築・運営、アライアンスの構築
- ノベルティなどの開発・販売、土産物ショップの運営
- 伝統工芸ギャラリー、カフェ・レストランなどの誘致・運営支援
- 周辺エリアの事業者と連携したエリアプロモーション
- 時節に多くの人々の集客交流を促すイベントの企画・開催

■ 施設の維持管理・運営に関する事業

- 施設の貸出に関する業務（深夜でも対応可能な施設貸出）
- 施設使用のルール構築・運用
- 利用者サポートサービス（公演などの販売代行サービスなど）
- その他、多様な利用者ニーズに応じたサービス
- 清掃・警備・メンテナンスなどの維持管理業務

■ その他『結の都』の円滑な運営に求められる事業

- 県外・海外の文化施設・ホールなどとの連携・国際的なネットワーク形成
- 多種多様な芸術・芸能人材が常に活動を繰り広げる場や仕組みの設置・運営
- 芸術・芸能振興に関する県下市町村との連絡調整
- 県立芸大、県立博物館・美術館、その他関係機関との連絡・連携
- エリアブランディングに関する浦添市等との連絡・連携

『結の都』の運営に必要な、補完的に整備することが期待される機能及び施設構成として、「創作や発表に使える場」、「稽古場」、「舞台道具の保管庫」をはじめ、「沖縄の芸術・芸能を学び触れることができる機能」、「沖縄の芸術・芸能に関する伝統工芸の活性化を促す機能」、「多様な人が訪れたいと思う魅力的な飲食・物販機能」、その他「アクセスの利便性の向上」などが挙げられます。

■シアター・スタジオ・稽古場

- 様々な芸術・芸能の創作や発表に使用でき、テストマーケティングやミニ公演にも対応可能なシアター（県立芸能シアター）
- 新たな試みにもトライできる設備が備わったスタジオ
- 深夜でも利用できる稽古場、比較的安価に利用できる稽古場



■舞台道具の保管庫

- 公演に使用する小道具などを保管できる空間
- ロングランの公演に用いる舞台装置等を保管できる空間
（いずれも展示機能を兼ねることも視野に）

■ 『結の都』の効果的な運営に必要な機能

- 県下の文化振興を促進するために必要な事務所機能・研修機能
- 沖縄芸能の継承・振興に関する団体等の活動・交流促進機能（サロンなど）
- 戦略的な情報発信を展開するための情報発信機能（マルチメディア）

■ 展示・学習・体験空間 伝統工芸ギャラリー（ショップ）

- 沖縄芸能に関する歴史や成り立ちがわかり、体験や学習ができる空間
- 魅力的なシャッタースポットがいくつも組み込まれた空間
- 沖縄芸能にまつわる衣装や楽器・小道具などのギャラリー（ショップ）

■ 魅力的な飲食店・物販店（カフェ・レストラン・ショップ）

- 多くの人の訪れる目的になるような魅力的な飲食店
- 公演前後に出演者と交わることができるなど贅沢な時間を過ごせる飲食店
- 公演のVIPの方をお招きできるような飲食店
- 各公演のノベルティや出演者を前面に押し出したグッズのショップ
- 「ここでしか買えない」お土産ショップ

■ アクセス利便性を高める施設・演出

- 十分な駐車場空間
- 『結の都』に向かっている期待感を演出する仕掛け（タペストリー通り）
- 定期ルートバスやデマンドバスなど、アクセスしやすい輸送サービス

「国立劇場おきなわ」を中心としたエリアにおける補完機能の一体的な整備にあたっては、周辺地域のまちづくりも見据えながら、沖縄の芸術・芸能の中心的なエリアとしての個性や良質な雰囲気を実際立させていくことが重要です(『結の都』のエリアブランディング)。

■ 『結の都』 ゾーニングプラン



■ 『結の都』ゾーニングプランに基づく整備イメージ

バイパス道路に面した『結の都』への入り口

- ・バイパス道路からの『結の都』への入り口

駐車場の配置

- ・多くの来客を受け入れ可能な駐車場の配置

常時人が集まるような商業機能の配置

- ・ドライブスルー型の飲食店など

多様な『結』の機能を高める施設の配置

- ・創造作品のテストマーケティングやミニ公演が可能なシアター(県立芸能シアター)
- ・夜間も使用可能な稽古場(活動シーンもエリアの風景になるような工夫)
- ・小道具やロングラン作品の舞台装置などを保管するスペース(保管品がギャラリーとなるような工夫)
- ・その他、ミュージアムショップ、小道具製作・販売空間、沖縄芸能のライブ러리、学習・体験などの機能を導入

『結の都』への期待感を高めるタペストリー通り

- ・アプローチの主動線に『結の都』のタペストリーやフラッグを設置、非日常的空間に向かうワクワク感を高める



滞留時間を高める仕掛け

- ・屋外ステージの積極活用
- ・公演日やイベントのある日に移動式店舗を誘致
- ・あずまや等のくつろぎ・やすらぎの設備を設置

『結の都』のエントランスとしての象徴的建築

- ・『結の都』のエントランスとして、国立劇場の景観を妨げず、意匠にマッチした施設を配置

『結の都』の事業主体には、関連機関との密な連携・協働の下で、『結の都』の「エリアマネジメント」および『結の都』を拠点とした文化芸術事業の運営を牽引していくことが求められます。

指定管理者制度を基本として、指定管理料や文化関連事業費などの収入を一定程度見込みつつ、民間活力を効果的に活用しながら持続的な収支構造を有する事業展開を目指します。

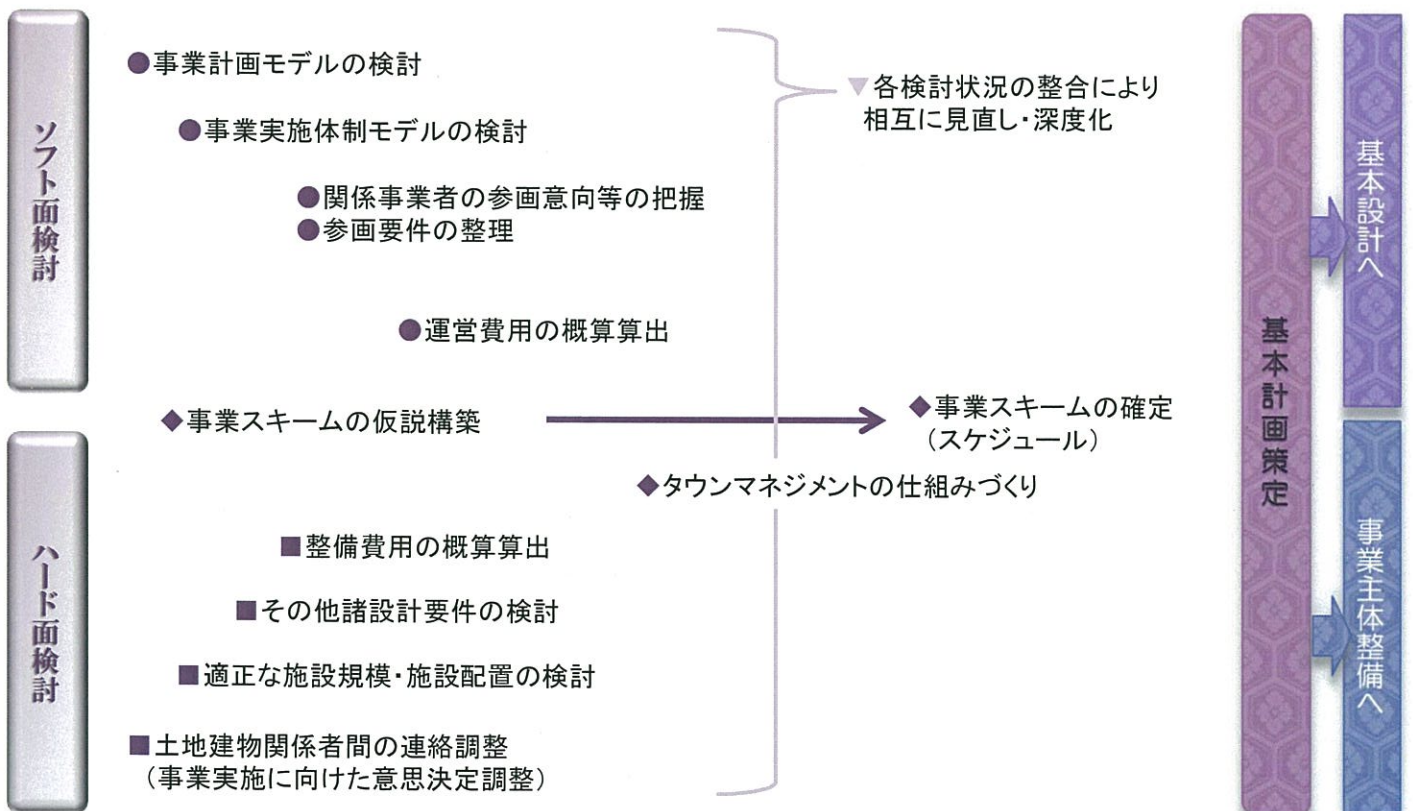


平成25年度以降の事業工程(滞りなく進める場合の予定)及びこれにともなう調整・検討が必要な事項は以下の通りです。

●事業工程



H25年度要調整・検討事項(フロー)



『おきなわ文化芸術・結の都』(仮称) 構想

沖縄県立芸能シアター等整備基本構想

平成25年3月 沖 縄 県